新井朝雄先生退職記念研究集会

日時：2019 年 3 月 7 日（木）13：30－3 月 8 日（金）15：10

場所：北海道大学　理学研究院　4 号館 5 階４－５０１

世話人：鈴木　章斗（信州大）、廣島　文生（九大）

プログラム

３月７日（木）

13:30－14:00　佐々木　格（信州大学）

準相対論的 Pauli-Fierz モデルにおける粒子の束縛について

14:00－14:30　寺西　功哲（北海道大学）

一般化されたスピンボソンモデル

14:40－15:10　松澤　泰道（信州大学）

無限次元ユニタリ群の閉部分群

15:10－15:40　藤本　忠　（龍谷大学）

フィジカとメタフィジカの間－A.Q.F.T からみた時間概念と広義のエンタングルメント問題

15:40-16:20　休憩

16:20－16:50　廣島　文生（九州大学）

Semi-classical analysis for the Nelson model

17:00－17:30　新井　朝雄（北海道大学）

正準交換関係および正準反交換関係の表現と量子物理

３月８日（金）

10:00－10:30　浅原　啓輔（北海道大学）

ある抽象的ϕ^2－モデルハミルトニアンのスペクトル解析

10:30－11:00　相原　祐太（北海道大学）

On a differential calculus in Boson-Fermion Fock spaces in the Q-space representation with linear topologies

11:10－11:40　和田　和幸（八戸高専）

長距離型量子ウォークの漸近速度作用素

11:40－12:10　船川　大樹（北海学園大学）

２次元スプリットステップ量子ウォークの局在化

13:00－13:30　日高　健　（福岡工大）

Existence of ground states for the Nelson model with a singular perturbation

13:30－14:00　布田　徹　（国士舘大学）

スプリット・ステップ量子ウォークのスペクトル解析

14:10－14:40　臼井　耕太（富士ゼロックス）

数理物理学と機械学習の意外なつながり

14:40－15:10　鈴木　章斗（信州大学）

１次元スプリット・ステップ量子ウォークのウィッテン指数

本研究集会は以下の科研費の援助を受けています：

・基盤研究(B)(一般)課題番号 16H03942 代表者：廣島文生(九州大)

「測度論的手法による無限次元解析と場の量子論のスペクトル解析への応用」

・基盤研究(C)(一般)課題番号 18K03327 代表者：鈴木章斗(信州大)

「散乱理論を用いた量子ウォークの弱収束定理の研究」